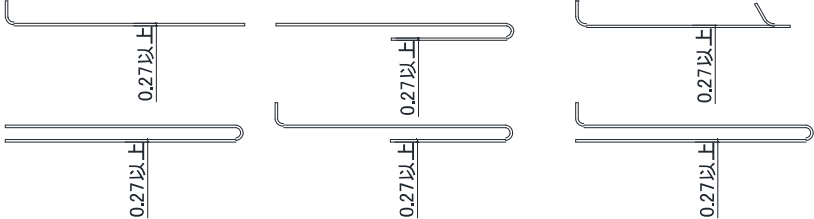


項 目	仕 様
⑥留付け材 (つづき)	<p>[8]外張断熱材仮留め用</p> <p>(1)～(6)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)なし</p> <p>(2)くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1)ステンレス 2)鉄 ・寸法 φ2.1以上×L38以上 <p>(3)ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1)ステンレス 2)鉄 ・寸法 φ2.1以上×L38以上 <p>(4)ブチル系粘着テープ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寸法 厚さ1.0以下、幅50以下、長さ200以下 ・取付位置 外張断熱材の四隅および中央またはいずれかの位置 <p>(5)アクリル系粘着テープ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寸法 厚さ1.0以下、幅50以下、長さ200以下 ・取付位置 外張断熱材の四隅および中央またはいずれかの位置 <p>(6)接着材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)～20)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1)エポキシ系樹脂 2)酢酸ビニル系樹脂 3)ゴム系 4)アクリル系樹脂 5)アクリルウレタン系樹脂 6)ポリウレタン系樹脂 7)シリコーン系樹脂 8)変成シリコーン系樹脂 9)ポリビニルアセタール系 10)塩化ビニル樹脂系 11)ポリアミド系 12)セルロース系 13)オレフィン系 14)ユリア樹脂系 15)メラミン樹脂系 16)フェノール樹脂系 17)レゾルシノール樹脂系 18)ポリエステル系 19)ポリサルファイド系 20)上記1)～19)の組合せ ・有機質量 58±5.8g/m²以下

(寸法単位：mm)

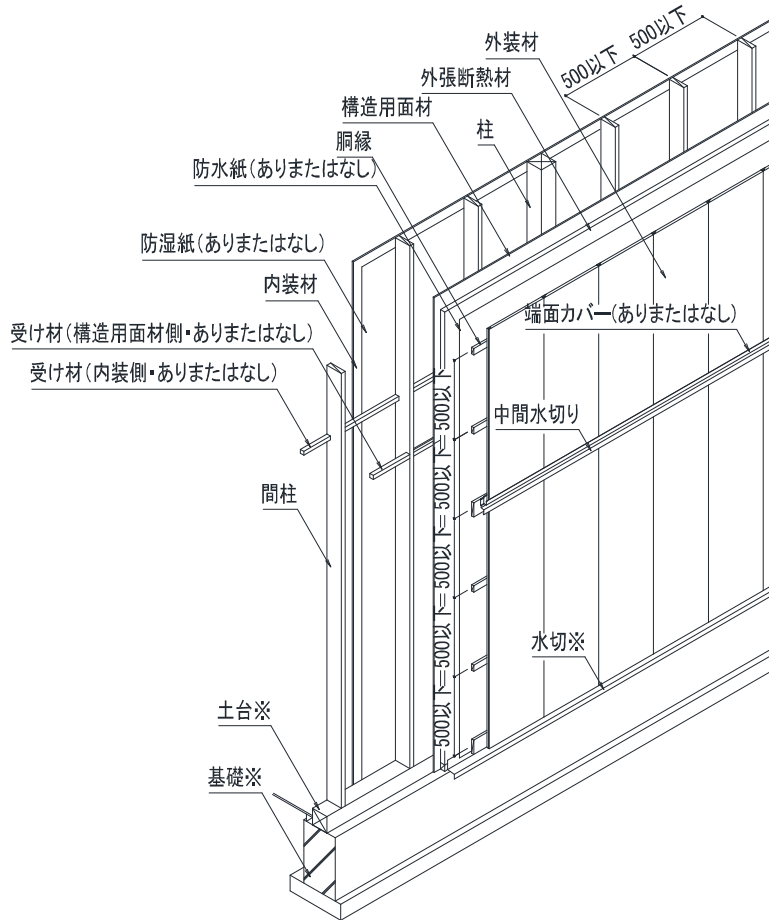
項 目	仕 様
⑦内装材目地処理材	(1)または(1)と(2)の組合せのいずれか一仕様とする (1)せっこう系パテ ・規格 JIS A 6914 ・塗布量 95g/m以上 (2)ジョイントテープ ・材質 1)～4)のうち、いずれか一仕様とする 1)紙 2)ガラス繊維 3)ポリプロピレン系 4)ステンレス帯板とガラス繊維の組合せ
⑧気密テープ	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1)なし (2)ブチル系粘着テープ ・寸法 厚さ0.75以下、幅100以下 ・取付位置 外張断熱材目地位置 (3)アクリル系粘着テープ ・寸法 厚さ0.75以下、幅100以下 ・取付位置 外張断熱材目地位置

項 目	仕 様
⑨外装材補強固定用 留付け材防水材	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1)なし (2)水密材 <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)～10)のうち、いずれか一仕様とする 1)ポリプロピレン系 2)合成ゴム系 3)塩化ビニル系 4)ポリウレタン系 5)アクリルウレタン系 6)ポリサルファイド系 7)シリコン系 8)ポリエチレン系 9)オレフィン系 10)1)～9)の組合せ (3)シーリング材 <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)～12)のうち、いずれか一仕様とする 1)変成シリコーン系 2)シリコーン系 3)アクリル系 4)アクリルウレタン系 5)ポリウレタン系 6)ポリサルファイド系 7)変成ポリサルファイド系 8)エポキシ系 9)ブチルゴム系 10)スチレンブタジエンゴム系 11)油性コーキング材 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5751 12)シリコーン系マスチック ・(2)と(3)の使用量 15g/m ² 以下(〔5〕外装材〔2〕表裏面合計有機質量との合計有機質量77/m ² 以下とする)
⑩補強金物	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)なし (2)あり <ul style="list-style-type: none"> ・材質 〔5〕外装材〔1〕-1と同じ ・厚さ 0.27以上 ・間隔 外装材の幅による(水平方向) ・形状 下図参照(代表例) 

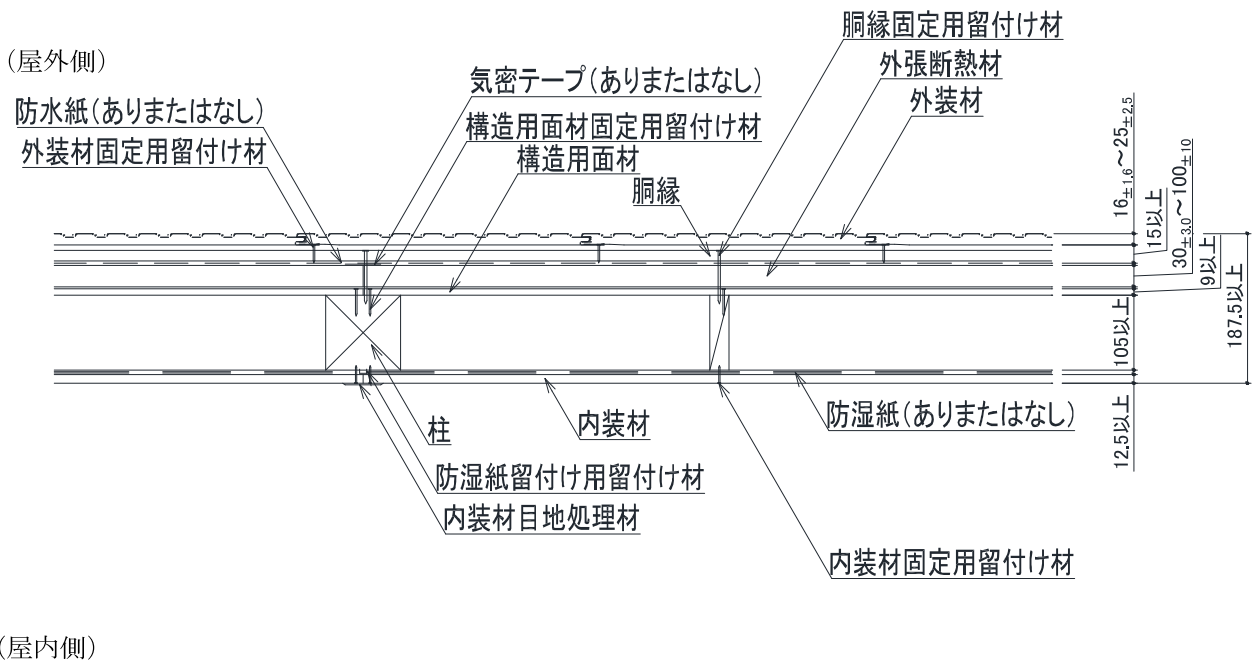
4. 構造説明図

(寸法単位：mm)

斜視図



水平断面図



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

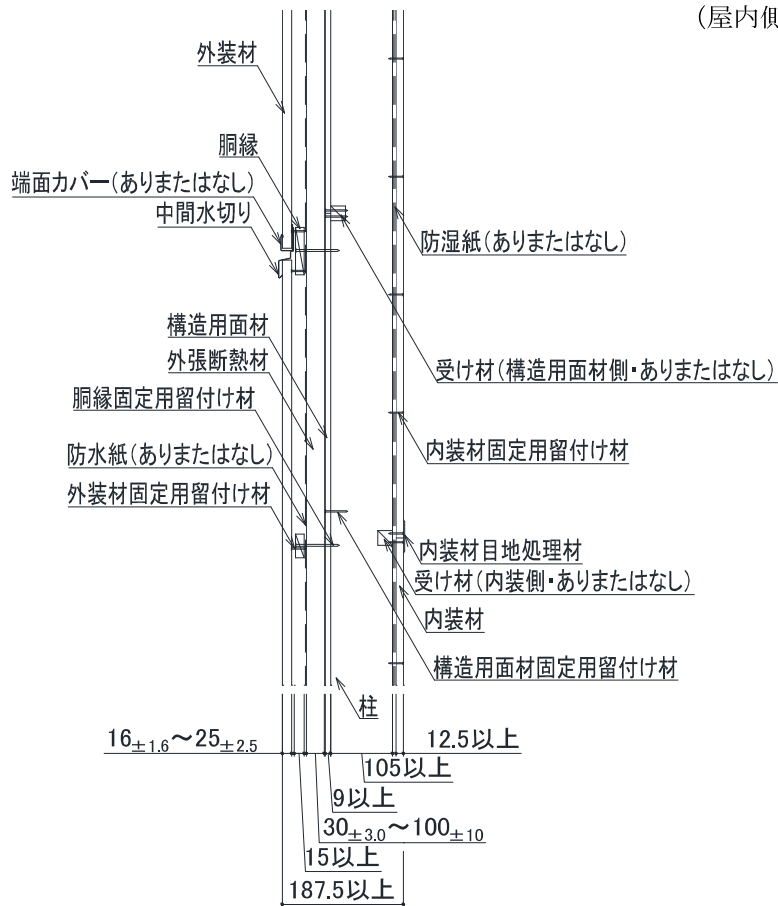
※：本評価内容に含まない

鉛直断面図

(屋外側)

(屋内側)

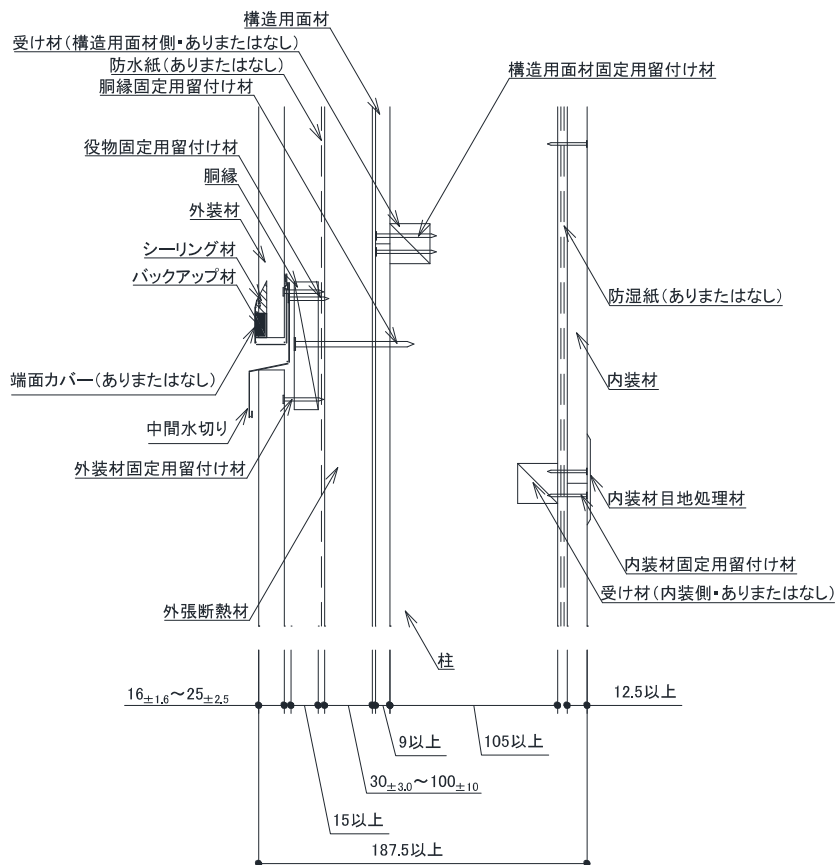
(寸法単位：mm)



目地部図(横目地部詳細図)

(屋外側)

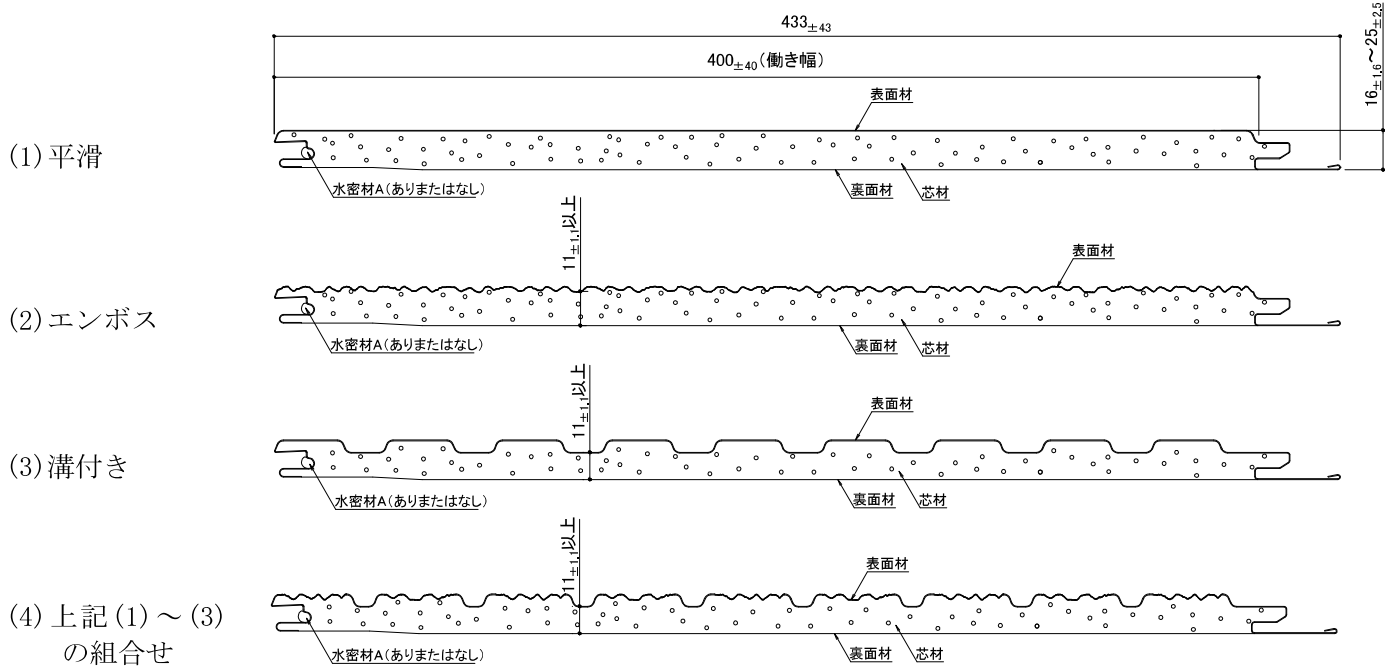
(屋内側)



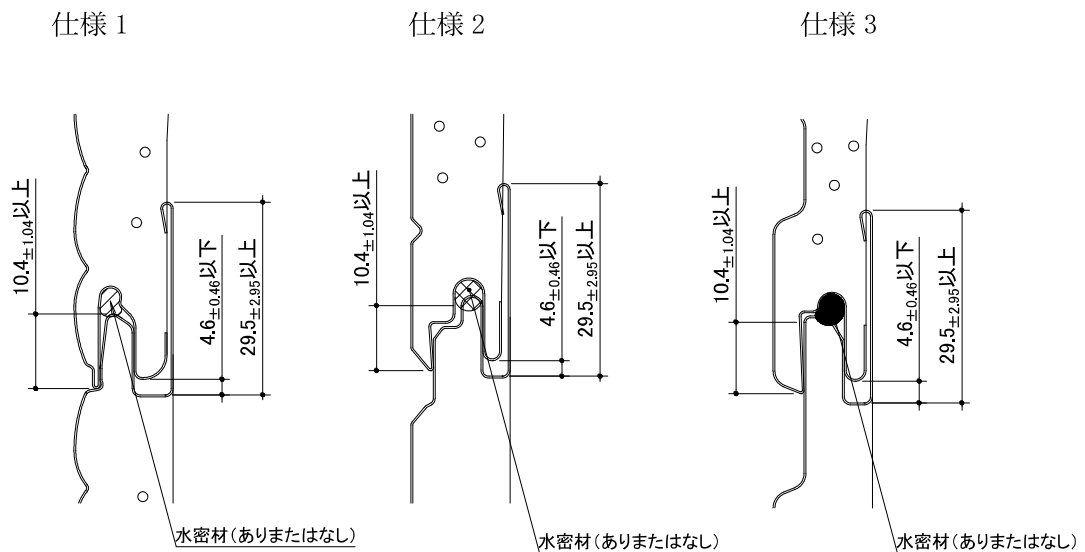
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

外装材形状(断面)の代表例

(寸法単位: mm)



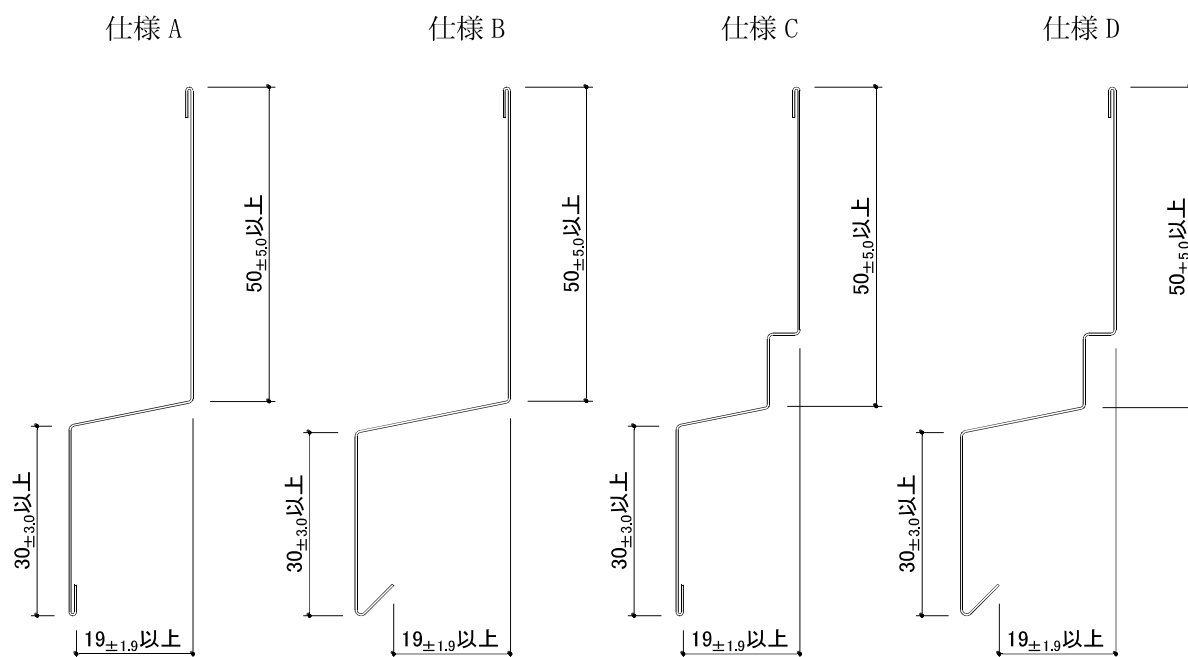
外装材形状(接合部)の代表例



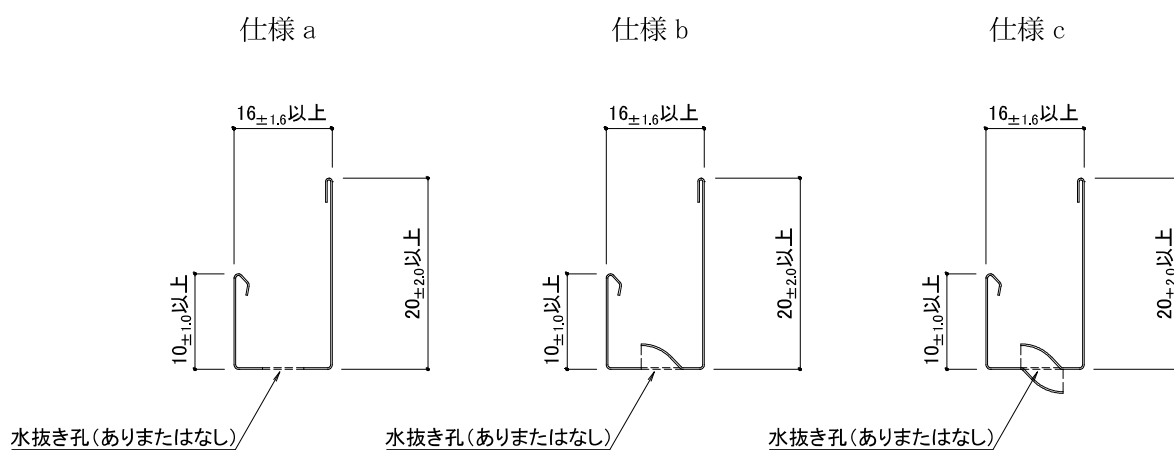
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

役物(中間水切り)の代表例

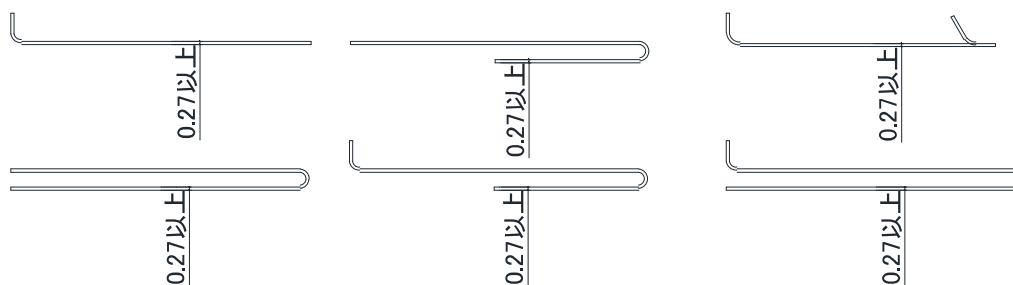
(寸法単位 : mm)



役物(端面カバー)の代表例



補強金物の代表例



注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

5. 施工方法等

<施工図>

4. 構造説明図と同じ

<施工手順>

(1) 下地

荷重支持部材、間柱は反り、曲り等ないものを使用し、荷重支持部材、間柱間隔を500mm以下で施工する。

構造用面材を荷重支持部材、間柱、当て木に500mm以下の間隔でくぎまたはねじで不陸のないように施工する。

(2) 外張断熱材の取り付け

構造用面材の上に外張断熱材を取り付ける。必要に応じてくぎ、ステープル、ブチル系粘着テープまたはアクリル系粘着テープを用いてもよい。

(3) 水切、スターター(端面カバー)の取付け(評価対象外)

土台に水切、端面カバーを水準器を用いて水平に取付ける。

(4) 防水紙の取付け

防水紙を取付ける場合は、ステープル、ブチル系粘着テープまたはアクリル系粘着テープを用いて留付ける。

(5) 胴縁の取付け

荷重支持部材または間柱に対して、横方向に配置し、500mm以下の間隔で不陸のないように平滑に荷重支持部材、間柱にくぎまたはねじで留付ける。

(6) 外装材の取付け

外装材の側面に水平方向は外装材の働き幅間隔以下、垂直500mm以下の間隔でくぎまたはねじで留付ける。

2枚目以降は外装材の凹部を外装材の凸部に差込み、施工していく。

(7) 役物(中間水切り、端面カバー)の取付け

- ・役物(中間水切り)を使用する場合

横目地部に中間水切りを3000mm以下の間隔でくぎまたはねじで留付ける。

- ・役物(端面カバー)を使用する場合

横目地部に端面カバーを3000mm以下の間隔でくぎまたはねじで留付ける。

(8) 防湿紙の取付け

防湿紙を取付ける場合は、ステープル、ブチル系粘着テープまたはアクリル系粘着テープを用いて留付ける。

(9) 内装材の取付け

内装材はくぎまたはねじを用いて荷重支持部材、間柱に留付ける。

横目地部にはせっこう系パテを塗布する。必要に応じて、ジョイントテープを用いる。

縦目地部には必要に応じてせっこうパテ、ジョイントテープを用いる。